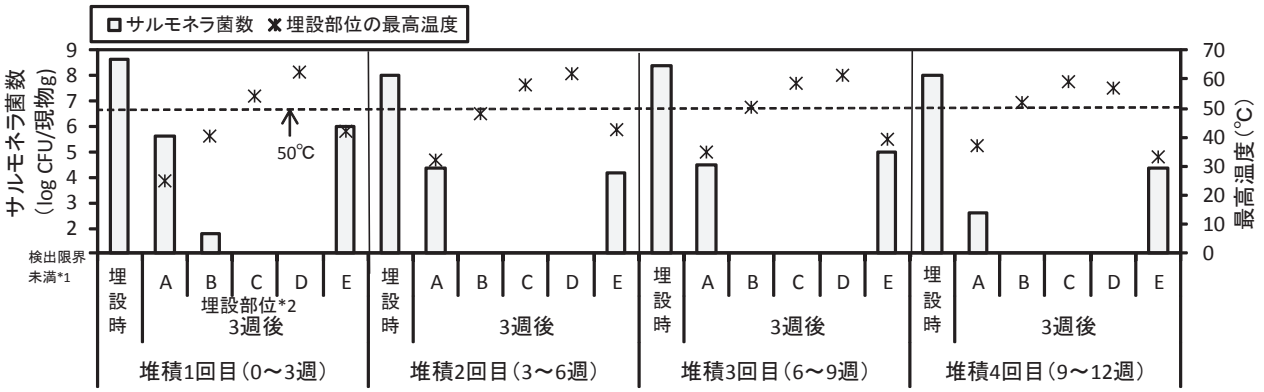

図１　乳牛ふんオガクズ堆肥（水分70%，初期容積重0.40kg/L）に埋設したPTFEバック内堆肥中のサルモネラ菌数の変化

＊1：＜0.7logCFU/現物g　＊2：埋設部位；A（床面），B（下層：床上40cm），C（中央：床上80cm），D（上層：40cm深），E（表面：2～3cm深）

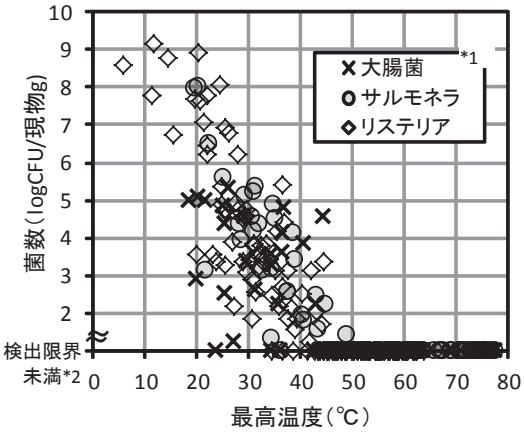

図２　PTFEバック埋設部位の最高温度と大腸菌，サルモネラおよびリステリアの生残菌数の関係

＊１：初期菌数；大腸菌6.5，サルモネラ8.4，リステリア9.5 log CFU/g
＊２：大腸菌とリステリアは<1.2logCFU/現物g，サルモネラは図１と同じ

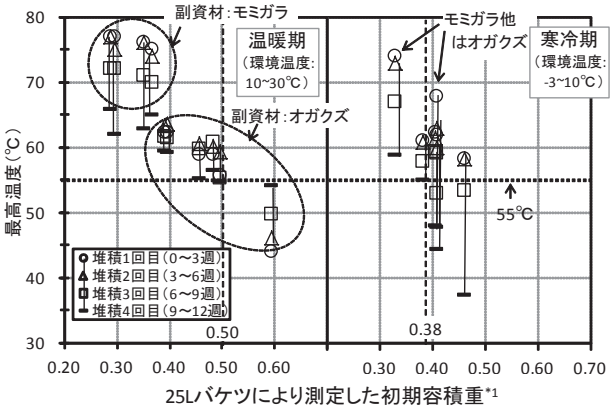

図３　堆肥化開始時原料の容積重と堆肥化過程での４回の堆積での最高温度（72時間維持＊2）

＊１：測定手順；①25Lバケツの空重量を計量。②バケツにすりきり一杯水を入れて計量，バケツの空重量を引いた値をこのバケツの容積とする。③堆肥原料をバケツに山盛り入れ，はみ出た分をすりきり除去して計量し，バケツの空重量を引き②で求めたバケツ容積で割る。
＊２：３日間以上維持された温度のうちの最高温度

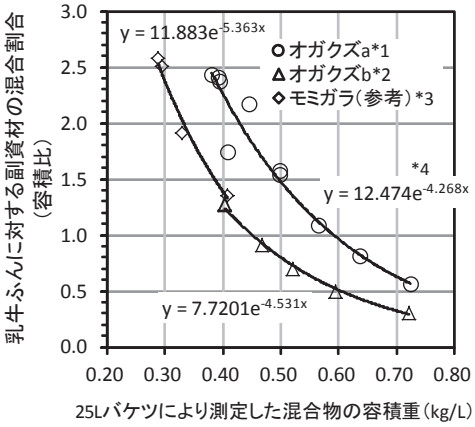

図４　乳牛ふんに対するオガクズの混合割合と混合物の容積重の関係

＊１：生木を削ったオガクズ（原料；カラマツ，水分45%，容積重0.27kg/L，保水率320%（w/w DM））
＊２：製材工場由来のオガクズ（原料；エゾマツ等，水分15%，容積重0.16kg/L，保水率529%）
＊３：モミガラ（水分14%，容積重0.11kg/L，保水率181%）
＊４：オガクズａの副資材必要量＝12.474×EXP（-4.268×目標容積重kg/L）

詳しい内容については、次にお問い合わせ下さい。
道総研畜産試験場　基盤研究部　飼料環境グループ　湊　　啓子
電話（0156）64－0622　　FAX（0156）64－6151
E-mail：minato-keiko@hro.or.jp